



学校教育目標

もとめる子 思いやる子 やりぬく子 きたえる子

第 11 号

岩見沢市立北村小学校
令和5年12月21日 発行

学校だより

令和5年度 学校評価アンケート結果分析の報告

過日、保護者の皆様には、本校の教育についてのアンケート(学校評価アンケート)にご協力いただきましてありがとうございました。アンケートの結果および学校改善の方向性などをまとめ、以下にお示しいたします。

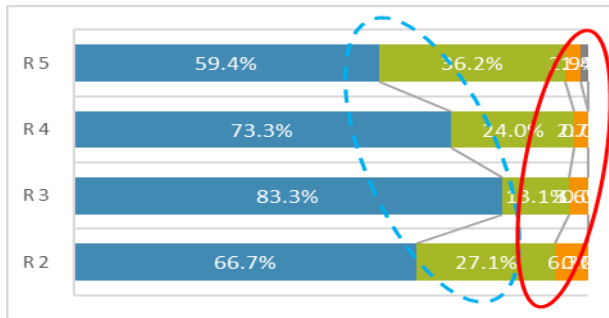
今後ともより良い教育活動を提供するため工夫改善してまいります。本校の教育活動にご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

分析〈1〉めざす学校像①「児童生徒が期待感をもって通う学校」に関する質問

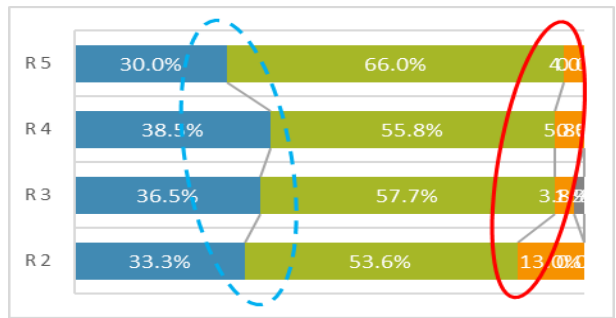
対象	質問No.	質問文
児童	1	学校は楽しいですか
保護者	1	北村小は、子どもたちが生き生きする教育活動(授業・行事)に取り組んでいると思いますか

とても:青色 だいたい:緑色 あまり:黄色 まったく:灰色

【児童の経年変化】



【保護者の経年変化】



○保護者の上位評価が96.0%で、本アンケートの項目中最も高い割合となっており、児童の上位評価についても高い評価が持続されました。本校の教育活動全体について児童を通しての視点において、一定の成果が認められていると考えられます。

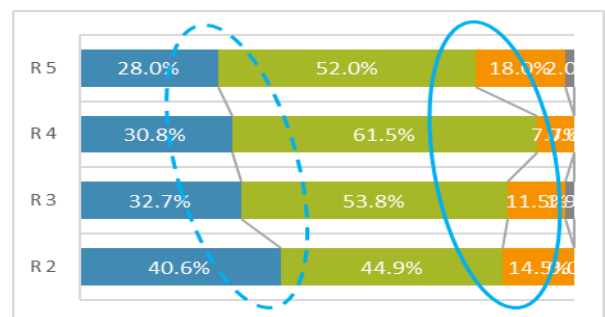
◎今年度は、コロナ禍の制限緩和の移行期として、児童の健康に配慮しながらさまざまな活動を再開したり、見直したりしてきました。回顧主義に陥らず、現状を見極めて今とこれから必要であるものを考え提供することに努めてまいります。

分析〈2〉めざす学校像②「家庭・地域が応援したくなる学校」に関する質問

対象	質問No.	質問文
保護者	8	北村小は、児童や保護者の期待に応え、信頼できる学校であると思いますか



【保護者の経年変化】



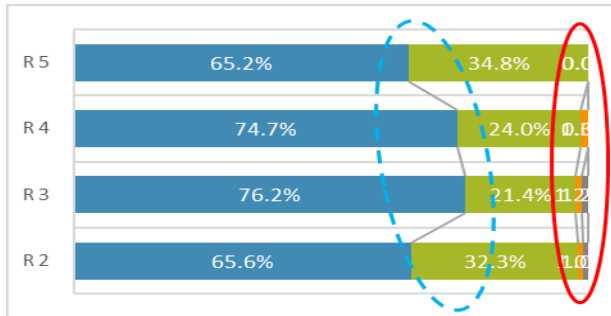
○保護者の上位評価が81.6%で相対的に低くはないものの、減少傾向があります。このことは、質問番号5の「北村小は、子どもの声に耳をかたむけ、相談などに適切に応じていると思いますか」で、特に減少傾向が見られていることから関連が推察されます。分析〈1〉と傾向が異なるので、日常生活に係る部分や学校対応の部分の改善が求められていると考えます。

◎学校課題や児童の困り感に係ることについて、組織的な対応をさらに進めてまいります。また、情報不足が不安や不信を招くことを踏まえて、情報の受信と発信、その後の対応を丁寧に行うよう努めてまいります。

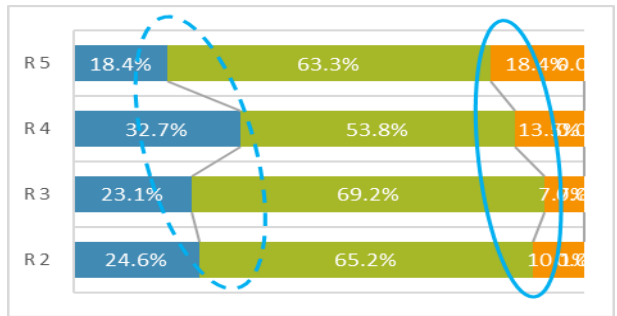
分析〈3〉経営の重点（重点1）「主体的・対話的で深い学びを通した確かな学力の定着」に関する質問

対象	質問No	質問文
児童	2	先生の授業は、わかりやすいですか
保護者	2	北村小は、学びに向かう力の育成・ICTの効果的な活用・授業改善などに努めていると思いますか

【児童の経年変化】



【保護者の経年変化】



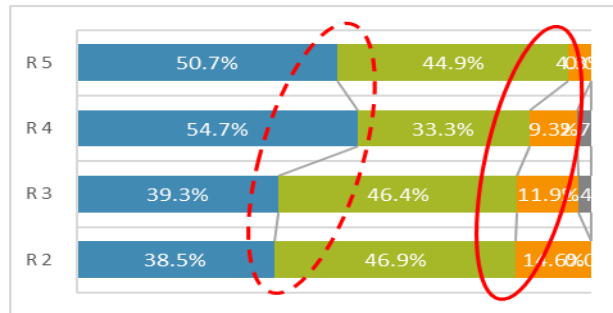
○児童の上位評価は高い水準を維持しており、ICT 機器が授業の中でうまく機能してきていると考えます。保護者の上位評価に減少傾向があるので、期待感が今一つ果たし切れていないことや、小中で連携した授業改善の取組の成果が見えにくいことが要因にあるように捉えました。

◎子どもたちに身に付けさせたい力をさらに明確にし、子どもたちの姿や客観的なデータを基にして、成果や課題を実感できるようにしてまいります。また、岩見沢市で推進している「子どもと創る授業」について共通理解が図られるようにします。

分析〈4〉経営の重点（重点1）「主体的・対話的で深い学びを通した確かな学力の定着」に関する質問

対象	質問No	質問文
児童	3	授業中、友だちの話をきちんと聞いて、自分の考えをしっかりと伝えていますか

【児童の経年変化】



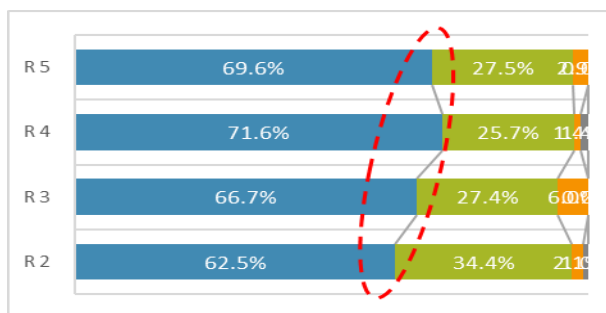
○経年変化の様子から、子どもたちの主体的・対話的に学ぶ態度の育成を図る授業の展開が、徐々に定着してきていることが表れていると考えられます。

◎身に付けるべき『学習スキル』を発達段階で整理して、小中合同で取組を進めてきております。引き続き、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に取り組み、子どもたちの確かな学力の育成に努めてまいります。

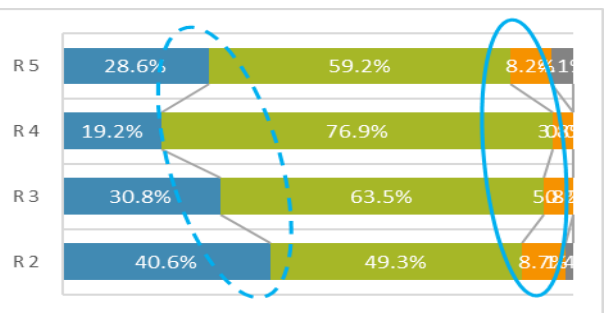
分析〈5〉経営の重点（重点2）「豊かな人間性を育む支持的・親和的な仲間づくり」に関する質問

対象	質問No	質問文
児童	5	友だちと なかよく できていますか
保護者	4	北村小は、思いやりや友だちを大切にする心の育成に努めていると思いますか

【児童の経年変化】



【保護者の経年変化】



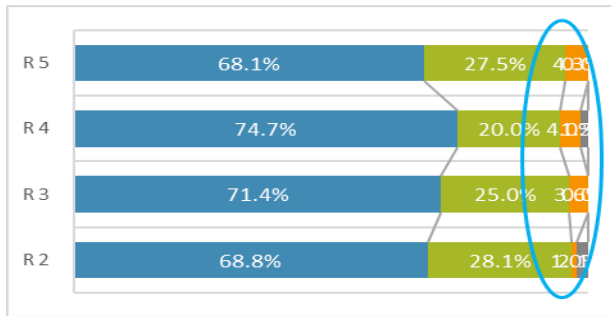
○児童の上位評価が高水準で推移しており、「とても」の割合に増加傾向が見られます。しかし、保護者の上位評価には減少傾向が見られ、このことは児童の低位評価が少ないながらも一定数あることと関連づけて対応する必要があると考えます。

◎「傾聴、受容、賞賛」による支持的親和的な風土づくり、道徳授業、ピア・サポート等の取組の広報に努めてまいります。またトラブルの対応や解決に向けては、保護者との連携にも重きを置くと共に、組織的な対応に努めてまいります。

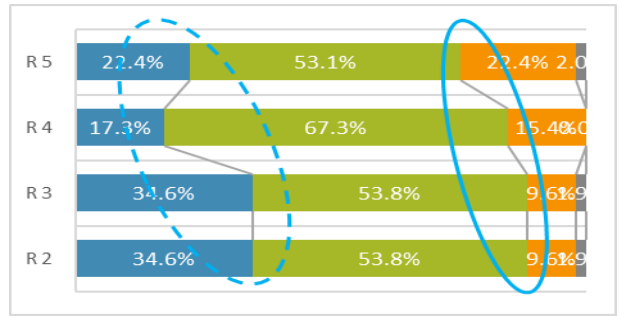
分析〈6〉めざす教師像①「心に寄り添い児童生徒を徹底して大切にできる教師」に関する質問

対象	質問No	質問文
児童	6	先生は、あなたの話をきちんと聞いたり、声をかけたりしてくれる
保護者	5	北村小は、子どもの声に耳をかたむけ、相談などに適切に応じていると思いますか

【児童の経年変化】



【保護者の経年変化】



○分析〈5〉と同様の傾向がみられていると考えます。ただし、保護者の回答で下位評価が2割強まで増加してきていることは課題であるとおさえ、改善が必要であると考えます。

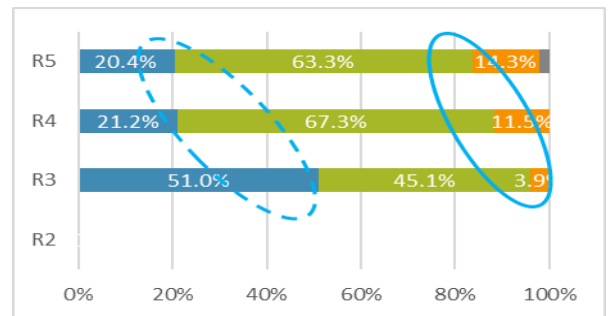
◎QUTテストの結果分析やコーチングを活用した教育相談により、子どもを理解し、心に寄り添う日常指導の充実に努めてまいります。また、保護者と電話連絡等で相互に情報共有を積極的に図り、協同して子ども理解に努めてまいります。

分析〈7〉経営の重点（重点4）「社会・地域とつながる学校づくり」に関する質問

対象	質問No	質問文
保護者	6	北村小は、いじめや生活指導上の問題に素早く適切に対応していますか



【保護者の経年変化】



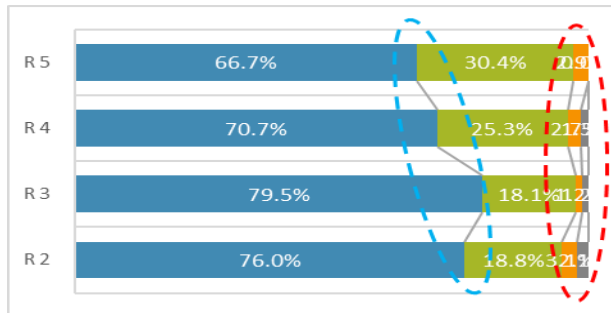
○他の項目との比較すると上位評価83.7%は極端に低いものではありませんが、上位評価の減少が明確に表れています。

◎いじめの認知を幅広く行い、組織的・継続的に指導することに取り組みを進めてきているものの、保護者の願いや求める水準に達していない部分があることを踏まえた取組の改善が求められていると捉えます。国の生徒指導提要の改定に基づいて、本校のいじめ防止基本方針の改訂を今年度中に図ります。いじめや嫌と感じる行為を認知したら粘り強く解決を図ることについて、丁寧な説明を心がけて進めてまいります。

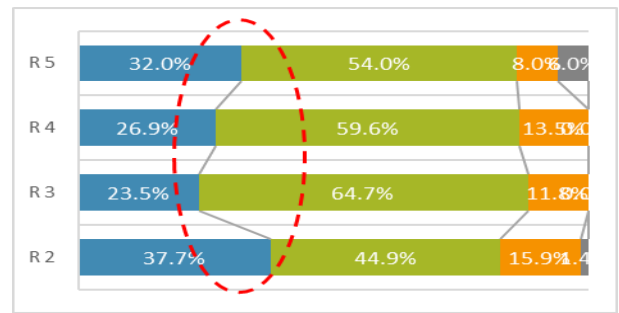
分析〈8〉経営の重点（重点2）「豊かな人間性を育む支持的・親和的な仲間づくり」に関する質問

対象	質問No	質問文
児童	7	先生は、あなたのことをほめたり、はげましたりしてくれますか
保護者	7	北村小は、子どもをほめたり励ましたりして、意欲を引き出していると思いますか

【児童の経年変化】



【保護者の経年変化】



○児童の評価はおおむね良好であると考えます。保護者の「とても」が増加傾向に転じていますが、下位評価が10%強で推移しています。

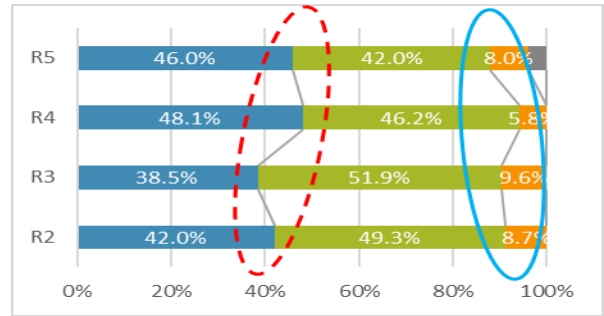
◎「コーチングを活用した生徒指導・教育相談の充実」、「社会性や他者理解を育む心の教育の充実」、「自己肯定感や自己調整力を高める指導の充実」に努めてまいります。

分析〈9〉経営の重点（重点4）「社会・地域とつながる学校づくり」に関する質問

対象	質問No	質問文
保護者	9	北村小は、積極的な情報発信（お便り、懇談会、一斉同報メールなど）に努めていると思いませんか



【保護者の経年変化】



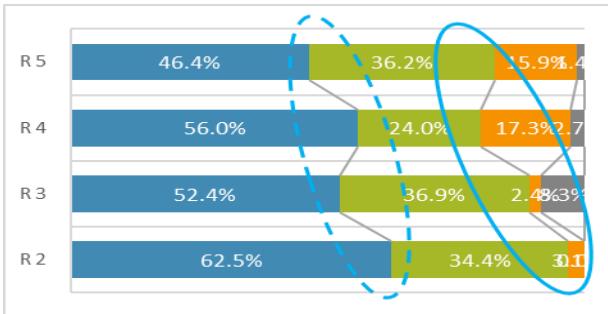
○コロナ対応における直接対話の機会の制限緩和により、この項目の改善が図られてくると考えていたものの結果はそれほどではなかったと押さえます。

◎一斉同報メールの速報性、学校便りの広報性のそれぞれの利点を生かす等、より効果的な情報発信に努めてまいります。また、情報発信については、的確な方法・内容・タイミングが重要と捉えてよりよいものにしてまいります。

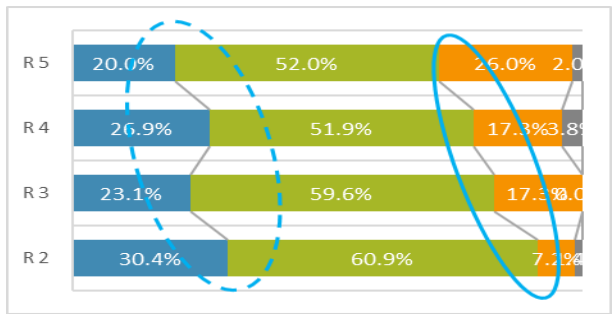
分析〈10〉家庭学習習慣の定着に関する質問

対象	質問No	質問文
児童	4	家で勉強していますか
保護者	3	家庭では、お子さんは家庭学習の習慣がありますか

【児童の経年変化】



【保護者の経年変化】



○家庭学習の習慣化について減少傾向が進んでいます。

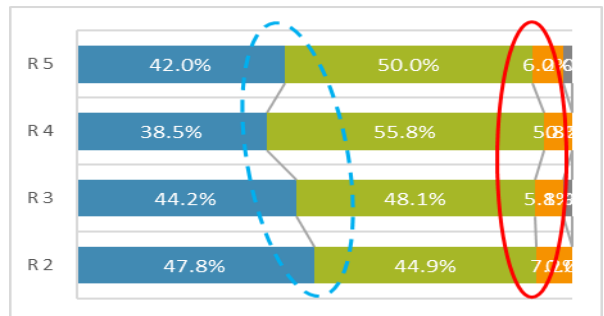
◎何をどのようにどのくらい取り組むのかの方法や、必要に応じて自学自習の主体的な取組を進める姿勢について、これまでの取組に対して見直しの時期に入っていると捉え、ICT機器の活用を含めた策を検討してまいります。

分析〈11〉経営の重点（重点3）「安全意識の向上と健康な体づくり」に関する質問

対象	質問No	質問文
保護者	10	北村小は、子どもたちの事故防止、安全確保（コロナ含む）に努めていると思いませんか



【保護者の経年変化】



○保護者の上位評価が92.0%で、本アンケートの項目中で2番目に高い割合となっています。本校の対応について一定の成果が認められていると考えられます。

◎より高い安心感を得るために、危険を回避する予防の観点を大切にしつつ、危機管理マニュアルの充実を図って迅速的確な対応が図れるようにしてまいります。また、この分野でのPTAや学校運営協議会との連携強化を検討してまいります。